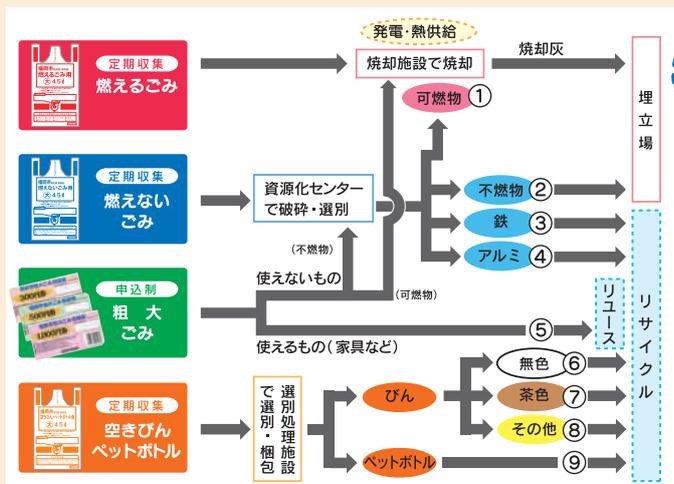


ほかんけんだより

Vol.5 2014年9月



福岡市のごみ処理の流れを知っていますか？



最終的には
9区分

現在、福岡市の家庭からのごみの収集は4分別となっています。一瞬、少ない？と思われるかもしれませんが、資源化センターをはじめとした専用の施設で、最終的には9区分まで選別することで、できる限りリサイクルを行い、埋立処分する量を減らしています。

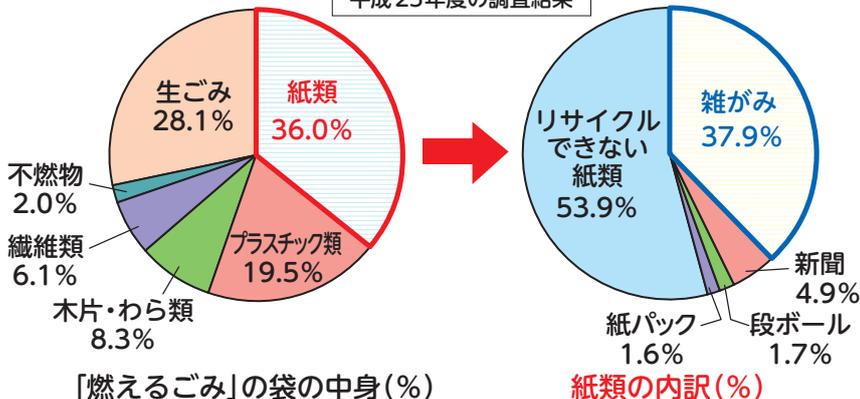
保健環境管理課では、皆さまの家庭から出されたごみの調査を行っています。この調査はごみの内訳・排出状況などを把握することを目的としており、得られた情報はごみの減量やリサイクルに関する市民啓発といった各種施策に反映されています。

調査により、ごみ袋の中にリサイクル可能なものがたくさん見つかりました。

課題①

「燃えるごみ」の袋にリサイクル可能な「雑がみ」が多く入っていました。

平成25年度の調査結果



「燃えるごみ」の袋のなかで最も多いのが「紙類」です。さらに紙類のうち新聞や段ボールなどリサイクル可能なものが約5割を占めており、なかでも「雑がみ」の割合が最も多いことがわかりました。雑がみをもっとリサイクルしましょう。古紙(雑がみ)は地域集団回収もしくは資源物回収拠点に出してください。※事業所から出るものは持ち込めません。

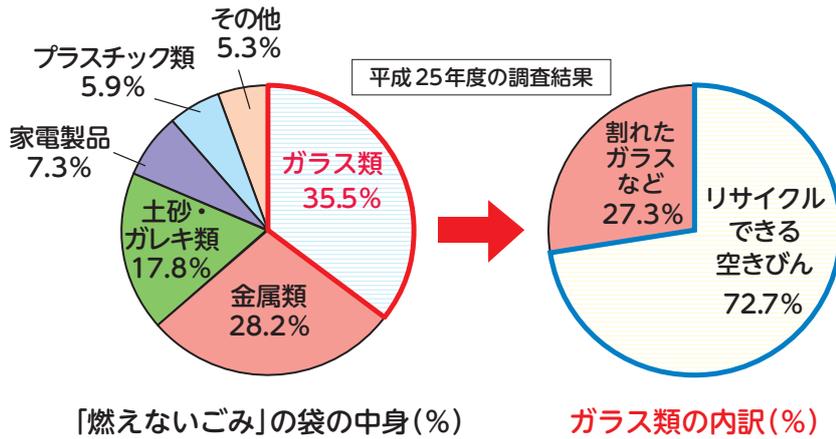
詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

福岡市 雑がみ リサイクル

検索

課題②

「燃えないごみ」の袋にリサイクル可能な「空きびん」が大量に入っていました。



パッカー車1台分の「燃えないごみ」にはこれだけの空きびんが。



「燃えないごみ」の袋のなかで最も多いのが「ガラス類」です。さらにガラス類のうち「空きびん」が7割以上を占めています。

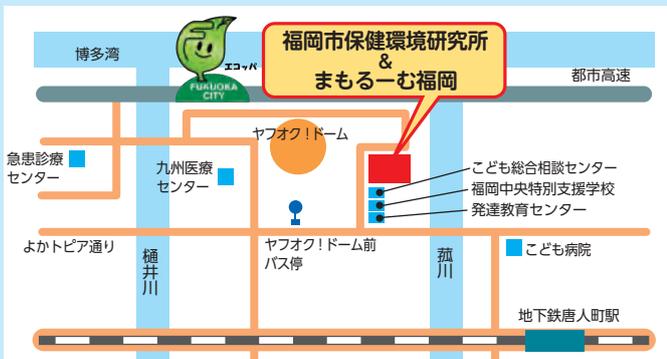
空きびんはリサイクル可能な資源です。右の「空きびん・ペットボトル」の袋に入れて出しましょう。（「燃えないごみ」の袋に入れて出すと、リサイクルされず全て埋立処分されます。）

お知らせ

福岡県内保健環境研究機関合同成果発表会を開催します。

県内の3保健環境研究機関（福岡市保健環境研究所、福岡県保健環境研究所、北九州市環境科学研究所）では住民の皆さまの安全・安心な暮らしを守るため、生活に関わりのある保健や環境についての検査・研究を行っています。ぜひ、ご来場ください。

日時：平成26年10月31日（金）13：30～17：00
 場所：福岡市市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）1F ふくふくホール
 福岡市中央区荒戸3丁目3番39号
 内容：特別講演及び環境・保健部門の発表
 定員：先着250人（事前申し込みは不要）
 費用：無料
 問い合わせ先：福岡市保健環境研究所保健環境管理課
 ☎ 092-831-0660



福岡市保健環境研究所

〒810-0065 福岡市中央区地行浜2丁目1-34
 TEL：092-831-0660 FAX：092-831-0726
 E-mail: hokanken.EB@city.fukuoka.lg.jp
 URL: http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/hokanken/

廃棄物資源化担当及び 廃棄物処理施設担当の事務所

〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13-42
 （臨海工場管理棟3階）
 TEL 092-642-4570 FAX 092-642-4595

